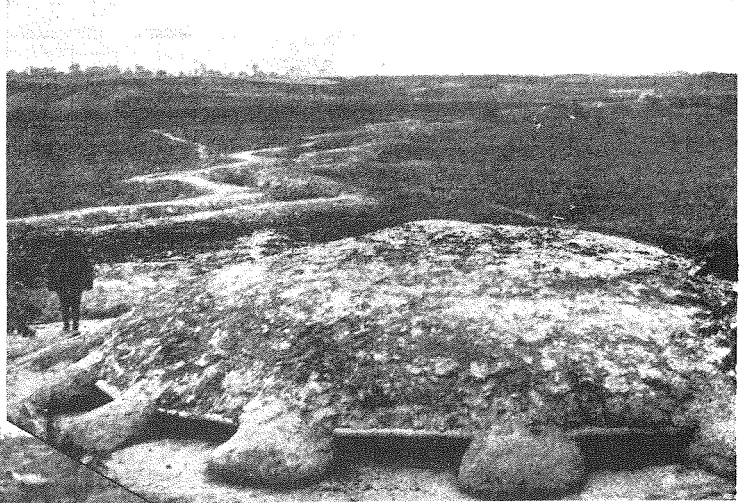
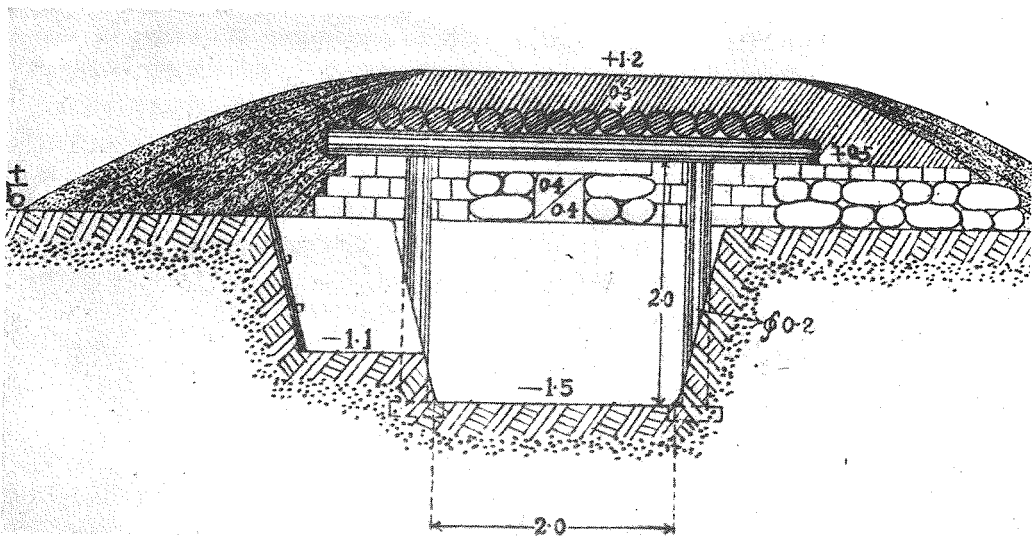


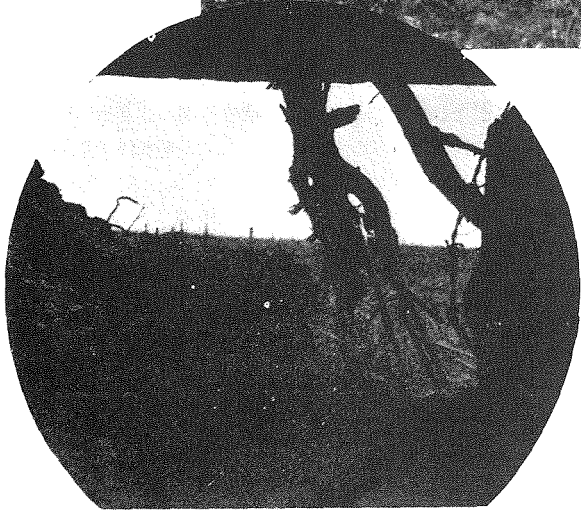
トーチカ

(北支戦線から)



北支に中南支に皇軍の活躍は目覺しい限りですが、支那軍の防禦工作も堅固な點では馬鹿に出来ません。其代表的なのが所謂「トーチカ」です。寫眞は北支津浦戦線の支那軍トーチカで、我勇猛果敢の皇軍の攻撃によつて陥落せしめたもの。トーチカには木製とコンクリート造の所謂ベトン式トーチカがあつてベトン式トーチカは上部コンクリートの厚が約2メートルあり其上に約1.5メートルの土砂を蔽せて擬装し、内部は二室になつてゐて、各トーチカ間は外部から





は全く分らない地下道で連絡されて
ゐます。寫眞は288頁の上が木製ト
ーチカ、中は城壁をくり抜いて造つ
た城壁トーチカの入口、下は支那兵
の遺留品中から發見されたトーチカ
の構造圖、289頁の上は所謂ハトン
式トーチカで、中はそのトーチカ内
部から外を見たところ、下は半永久
的に構築された散兵濠で、ほるか地
平線に近く見られる黒點はトーチカ
です。

